

病変に対する原因対策

血管の屈曲、spasm、アコーディオン、狭窄、解離、石灰化

病変部の十分な前拡張

IVUS などの確認により表在性石灰化があればローターによる debulk

デバイスによる原因対策

Back up force を得る

まず適したガイディングカテーテルの選択

deep engage

サポートワイヤーへの変更

2 本以上のワイヤー挿入

Anchor balloon technique

親子カテ使用

穿刺部位の変更

DES から BMS への変更

1 症例に対する議論の中で、さまざまな原因や同様の状況の場合での対応策などを話し合った。